令和７年度 自己点検・評価報告書 検証結果

本学では、教育、研究、社会貢献及び大学運営等の諸活動について、自己点検・自己評価委員会が取りまとめた「令和７年度自己点検・評価報告書」をもとに、内部質保証推進会議において取組状況及び改善状況を検証しました。

検証の結果、建学の理念及び大学の使命・目的に基づき、教育研究活動などの質の向上に向けた取組みが全学的に進められていることを確認しました。特に「内部質保証推進会議を中心とした PDCA サイクルの運用」、「三つのポリシーを起点とした教育課程の点検・改善」、「アセスメント・ポリシーに基づく学修成果の把握」、「学生の意見を反映した学修環境・学生支援の改善」など、教育の質保証及び学生本位の教育を推進するための取組みが着実に進展しています。また、「FD・SD の組織的な実施」、「研究倫理教育」、「地域社会との連携」、「法人におけるガバナンスの確保」などについても、継続的な取組みができていることを確認しました。

一方、一部学科の入学定員充足に向けた取組みや、大学設置基準等を踏まえた教員配置の充実などについては、引き続き改善を要する課題であることを確認しました。また、地域社会との連携については、包括的に対応可能な組織の構築を進めることで、より効果的に地域貢献につなげていくことが求められます。生涯学習についても、リカレント教育の方針整備が進められた一方、履修証明プログラムについては参加者確保に課題が残っており、今後の検討が必要です。

これらの検証結果を踏まえ、今後は自己点検・評価で明らかとなった課題を中期計画などに反映するとともに、改善措置の進捗を継続的に確認し、その成果を次年度以降の教育研究活動及び大学運営の改善につなげて参ります。

本学は、基本理念の１つに「地域とともに成長する大学」を掲げていることからも、学生、保護者、卒業生及び地域社会などの意見を取り入れながら、内部質保証の実質化を図り、教育研究の質のさらなる向上と、社会から信頼される大学づくりに継続して取り組んで参ります。

令和８（2026）年９月

九州看護福祉大学 学長